

## 秋の国際短編映画祭

## 韓国ショートフィルム特集プログラム

## スペシャルゲストに元超新星ユン・ソンモさんが登場

2023年10月20日（金）18:40～（上映+トーク）

於：東京都写真美術館

米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭ショートショートフィルムフェスティバル & アジア（SSFF & ASIA）が開催している秋の国際短編映画祭、韓国特集プログラムにおいて、スペシャルゲストとして、元超新星のユン・ソンモさんが登場することが決定いたしました。

URL <https://shortshorts.org/2023autumn/event/korean/>

元超新星のユン・ソンモさんは日本語も堪能。日韓で俳優としても活躍すユン・ソンモさんに、プログラムで上映する作品の紹介と共に、日本と韓国のエンタメ事情、映画業界の潮流などをお話しいたします。

## SSFF &amp; ASIA 2023秋の国際短編映画祭

## 韓国ショートフィルム特集プログラム スペシャルゲスト ユン・ソンモ（元超新星）

※10月20日（金）18:40～の回に登場

超新星として2007年9月21日韓国デビュー。2009年9月9日に日本デビュー。モデル並みのスタイルと甘いマスクに加え、実力派のダンスと歌で評価を得ている。超新星ではメインボーカルを務め、ソロではデイリー1位、ウィークリー2位の実績を持つ。日本語のヒアリング力は周囲が驚くほどのレベル。ソロのアーティスト活動に加え、チャンミン(2AM)、TAKA(DEEP)とのユニット250(TWO-FIFTY)としても活動。また、アーティスト活動のほか、日韓で俳優としても数々のドラマや映画作品に出演。韓国では映画『男は最初を望み、女は最後を望む』(5月公開)『butterfly effect』(6月公開)に主演、日本では主演映画『ランサム』が7月より公開中、ドラマ「婚活食堂」(BSテレビ東京)「Dr.チョコレート」(日本テレビ)「駐在刑事SP 2023」に出演。



## 韓国ショートフィルム特集プログラム

日時：2023年10月20日（金）18:40～20:40（上映+トーク）※スペシャルゲスト：ユン・ソンモさん  
※10月21日（土）14:40～16:10 は上映のみ

会場：東京都写真美術館ホール

チケット：無料／Peatixにて予約受付中

[https://shortshorts.org/2023autumn/program/program\\_cat/korea/](https://shortshorts.org/2023autumn/program/program_cat/korea/)

## 『秘密にしよう』(Hidden Road)

車の行き来がありそうにない静かな通りで、2台の車が大破している。ソフンは事故で妻と娘を失ったが、“テス”は無事だった。立場の違う2人は、お互いを理解し前に進むことができるのか。

監督：Cheol hwi KIM / 0:22:45 / 韓国 / スリラー / 2021



### 『マルソック』(Met you by chance)

映画監督を目指す主人公サング。彼は小さなコミュニティーセンターで映画制作のワークショップを主催している。ワークショップに参加する自称元女優のマルソックは、その有り余る情熱でサングを悩ませていた。

監督：Jae-ui LEE / 0:18:00 / 韓国 / ドラマ / 2021



### 『カット!』(CUT)

さびれた工場。無情にもゆっくりと死にゆくウナアの最後のあえぎ声が聞こえる。突然、ジュンソク監督が「カット!」と叫ぶ。その瞬間、雨音が絶え間なく聞こえ出す。しかし雨が降っているのは目に見えない。これは誰かの妄想か現実か。

監督：Min-zun SON / 0:16:51 / 韓国 / ホラー / 2022



### 『TRAP by SEO IN GUK』

芸術とは時に多大な集中力を要する表現方法だ。本作では主人公が内向的なプレッシャーと自分自身から逃げ出そうと想像力を駆使する。芸術家は自身が創り出す世界の住人であるが、時として恐怖は己をも破壊してしまうのだ。

監督：Seo In Guk / 0:12:58 / 韓国 / エクスペリメンタル / 2022

## SSFF & ASIA 2023 秋の国際短編映画祭 概要

#### ◆期日および会場：

##### ＜オンライン会場＞

オンライン・グランドシアター 2023年9月28日(木)～10月27日(金)

オンラインサテライト会場：①「DOOR」シアター 期間同上

②プリリア ショートショートシアター オンライン

10月4日(水)～4週に渡りハロウィン特集

##### ＜リアル会場＞

赤坂インターシティ コンファレンス 10月17日(火)

東京都写真美術館ホール 2023年10月19日(木)～22日(日)

サテライト会場：①東京ミッドタウン日比谷 日比谷ステップ広場

(HIBIYA CINEMA FESTIVAL 2023内上映)

2023年10月13日(金)～22日(日)

②シアターギルド代官山 2023年10月16日(月)～18日(水)

※プログラムにより上映開始時間が異なります。ウェブサイトにてご確認ください。

◆内容：SSFF & ASIA 2023受賞作品の上映・配信のほか、韓国ショートフィルム特集上映、ゲストを迎えてのトークイベントやクリエイター向けのオンラインセミナー、BRANDED SHORTSのセミナー開催も予定。

オンラインサテライト会場ではハロウィンをテーマにしたショートフィルムプログラムを配信。

※イベント・ゲスト情報は9月28日の公式サイトにて公開

#### ◆料金：【無料】

・東京都写真美術館ホール

・東京ミッドタウン日比谷 日比谷ステップ広場 (HIBIYA CINEMA FESTIVAL 2023内上映)

・プリリアショートショートシアターオンライン

・クリエイター向けオンラインセミナー

#### 【有料】

シアターギルド代官山

オンライングランドシアター

※オンライン会場の作品が30作品以上見放題となる鑑賞パスポート 1,000円(税込) 9月28日(木)より発売

◆申し込み：東京都写真美術館での上映の席予約はウェブサイトにて受付中

※サテライト会場の予約、チケット購入はウェブサイトに掲載の各リンク先より

ウェブサイト：<https://shortshorts.org/2023autumn/>

主催：ショートショートアジア実行委員会 共催：東京都 後援：J-WAVE 東京国際映画祭提携企画



# SHORTSHORTS

---

## FILM FESTIVAL & ASIA

### 【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの思いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定されました。

また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、同年に「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生し、現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

2018年には、映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカスアワード」となりました。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、2019年の映画祭より、ライブアクション部門（インターナショナル、アジアインターナショナル、ジャパン）およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品が、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

<https://www.shortshorts.org>

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート実行委員会 担当： 田中 TEL：03-5474-8201 [press@shortshorts.org](mailto:press@shortshorts.org)

画像のダウンロード：

[https://drive.google.com/drive/folders/1yaGS3PeRbo\\_YKBQMstsHsZW71FnXOwN0?usp=sharing](https://drive.google.com/drive/folders/1yaGS3PeRbo_YKBQMstsHsZW71FnXOwN0?usp=sharing)